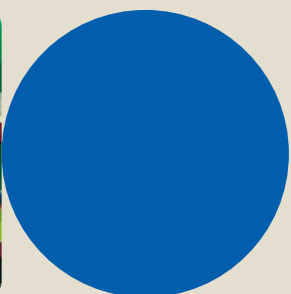
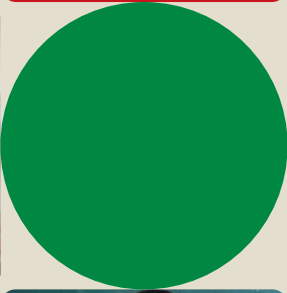
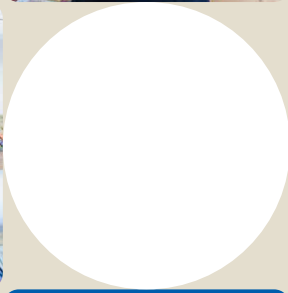


エファジャパン歳末募金

2023年11月21日(火)~2024年1月30日(火)



この冬、子どもたちに本を プレゼントしてあげませんか？



エファジャパンは
"本の飢餓"をなくすために
活動しています

エファから始まる 自分ものがたり

小さい頃にお母さんにせがんで読んでもらった本。社会人1年目でつらいときに先輩に勧めてもらった本。震災のとき避難所で読んで励ましてくれた本。ずっと気になっていて定年してからやっと読んだらとても面白かった本。本の中のものごたたりは、私たちの人生を支えてくれる。
そして、ひとはいつでもどこでも、自分ものがたりを描く力を持っている。
でもまだそれを知らない子どもたちがいます。本の力を知っているあなたにこそ、子どもたちへ本を届けてほしいのです。

この冬、本を子どもたちに プレゼントしてあげませんか？

あなたが子どもたちへ贈りたい本を
教えてください！

これからの未来を担う子どもや青年たちへ、
あなたが贈りたい本はどんな本ですか？
皆さんの大切な一冊と子どもたちへのメッセージ
を募集しています。

送りたい本のアンケートはこちら



困難の中にある子どもたちが「自分ものがたり」を描けるようにエファは本を届け続けます。ご支援をよろしくお願いいたします。

※エファジャパンは認定NPO法人です。寄付総額の約40%の税額控除を受けることができます。詳細はエファHPをご確認ください。



2023 エファジャパン歳末募金

【期間】
2023年11月21日(火)~2024年1月30日(火)

銀行振込
中央労働金庫(2963) 市谷支店(299) 普)1442725トクヒ)エファジャパン
三菱UFJ銀行(0005) 市ヶ谷支店(014) 普)1340692トクヒ)エファジャパン

※寄付金受領書を発行します。お振込み後、事務局までメールまたは電話でご連絡ください。

郵便振替
00190-6-723415
加入者名)エファジャパン
※寄付金受領書を発行します。払込取扱票通信欄に「歳末募金」とご記入ください。

クレジットカード
下記QRコードもしくは
「Syncable(シンカブル)」→
「エファジャパン」でネット検索。
エファジャパンページのキャンペーン
「エファジャパン歳末募金2023」へ





農村部の障害児に学びの場を

3集合村に「チルドレン・スタディ・クラブ」を設置し運営をしています。月曜日から金曜日まで子どもたちが学んでいます。



教員、村民へのトレーニング研修

障害者の権利を学ぶだけでなく、社会から障害をなくすためにできることを、一人ひとりが考え実行するための研修会を開催します。



アクセシブル(利用しやすい)教材の開発

エファはカンボジアの教育省や日本の専門家の協力を得ながらバリアフリーのデジタル図書などの新しい教材を開発。タブレットの整備等も進め、自ら情報を得る力を育てています。



農園づくり、魚の養殖研修会

障害があっても暮らしを営んでいくための農業や養殖の技術を、子どもたちと保護者向けに研修を通じて伝えています。

歳末募金のご支援は、どんな困難な状況にあっても、未来を拓きたいと願う子どもたちを本の飢餓から守るために使わせていただきます。



図書室ができたときは低学年だったので、先生に絵本の読み聞かせをしてもらってました。いまは自分で読めるようになりました。読めなかった字が読めるようになると、「やった!」と思って、幸せな気持ちになります。これからも本を読み、読むことができる字を増やしていきたいです。そして、新しいことをたくさん学びたいです。将来は警察官になり、村を守るのが夢です!

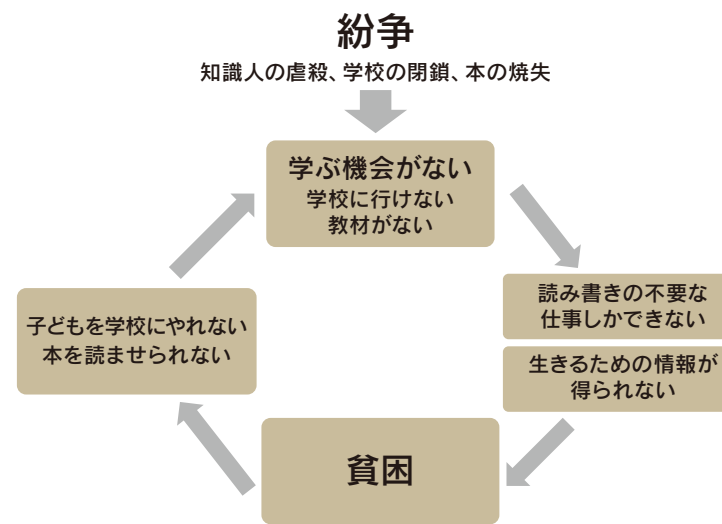
ティップハバン・ケオパサートさん(ラオス)

About us



エファは、日本全国の自治体や公立の病院、保育所、福祉施設、交通機関や上下水道などの公共サービスに従事する人たちが行ってきた国際協力事業「アジア子どもの家」を引き継ぎ、2004年に設立された国際協力NGOです。貧困やさまざまな障害のため学校にいけない子どもたちの権利を守り、初等教育の推進や児童労働の削減、障害児のライフスキルの向上に取り組んでいます。

エファが解決したい課題

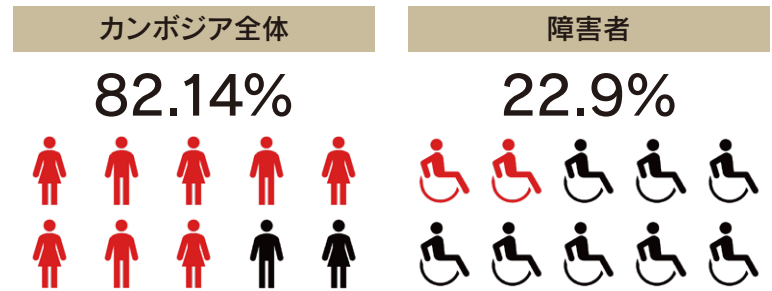


親から子へと続く貧困

エファの活動地域であるカンボジア、ラオス、ベトナムでは、戦争のつめ痕が貧困や格差となって今も残っています。親から子どもへ引き継がれる貧困のスパイラルを断ち切るには、子どもたちが自分の力で未来を拓くための教育が必要です。

小学校の卒業率でみられる格差

障害児や農村部に暮らす子どもたちは教育機会が少なく、学習に必要な教材も著しく不足しています。エファはこうした子どもたちの成長にマッチした教育の機会を提供し、生きる力を培うための活動をしています。

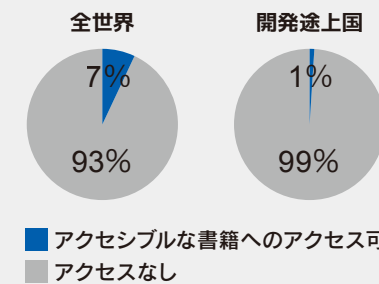


出典) Public Education Statistics & Indicators 2018 - 2019
General Population Census of the Kingdom of Cambodia 2019 (2020年10月)

「本の飢餓」とは

開発途上国に暮らす障害者が利用可能な書籍(点字、音声、大活字本など)は非常に限られ、毎年出版される本の中でわずか1%以下と推定されます。世界盲人連合(WBU)はこの状況を「本の飢餓(book famine)」と名付けました。エファの活動地カンボジアでは過去30年に及び内戦で学校や図書館が閉鎖され、書物は焼かれました。子ども向けの本もゼロから作り直さなければならず、障害児のための教材は皆無に等しい状態です。本は命と心の栄養です。本がなければ基礎的な読み書きを学べず、生活に必要な情報が届きません。本を読んでさまざまな価値観や文化に触れ、想像力を養うこともできません。エファは「本の飢餓」をなくし、子どもたちが自ら生き抜く力と、豊かな心を育むための活動を続けています。

本の飢餓(BOOK FAMINE)



内戦後、国立図書館に残ったクメール語の本はわずか500冊でした。

エファのビジョン

すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し、「自分ものがたり」を描ける社会に。